

# りそな外為レポート

## りそな WEEKLY COLUMN

### りそな外為レポート

#### 景気刺激策に即効性あり (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室  
カスタマーディーラー 伊藤 一輝

今週のドル円予想レンジ **104.40 ~ 106.00**

### りそなWEEKLY COLUMN

#### 読者への挑戦 X I ~ マーケットの地域性と東証改革 ~

(P3)

関西みらいフィナンシャルグループ  
ストラテジスト 石田 武

- 読者への挑戦 X I
- 味噌汁の地域性とマーケットの地域性
- 地方市場と東証改革
- 解決編

2021/2/22

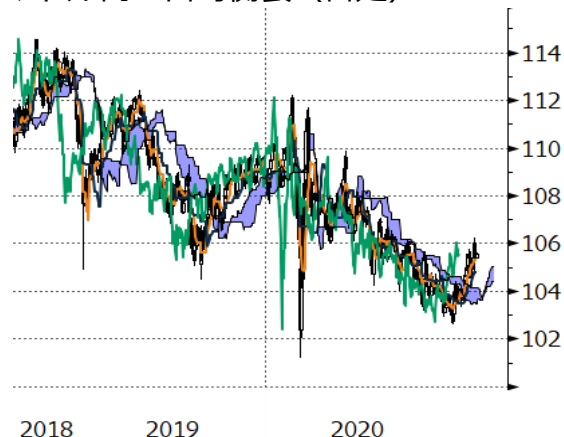
# りそな外為レポート

## 景気刺激策に即効性あり

今週のドル円予想レンジ **104.40 ~ 106.00**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

### ◆ドル円一目均衡表（日足）



### ◆為替相場のすすめ

先週のドル円は円安ドル高方向の動きが優勢、17日(水)に米長期金利上昇に連れて一時106円22銭の高値をつけた。ただし週後半にかけては上値が重くなり、105円40銭台で越過となった。

1月の米小売売上高は前月比+5.3%と、予想外の大幅増加。昨年末に成立した約9,000億ドル規模の景気刺激策が早くも奏功した様子だ。これに加え、来月中には最大1兆9,000億ドル規模の追加景気刺激策の成立が見込まれる。米GDPの過半を占める個人消費について、夏に向けて力強さを見せそう。

ただし足元、今週については株安・長期金利低下・円高を予想する。先週の急激な金利上昇・株高に対し、徐々に調整が入るように思われる。23日におこなわれるパウエルFRB議長の下院議会証言は従来のスタンスを繰り返すと予想。注目は追加景気刺激策についてのヘッドラインに集まるだろう。

(カスタマーディーラー 伊藤 一輝)

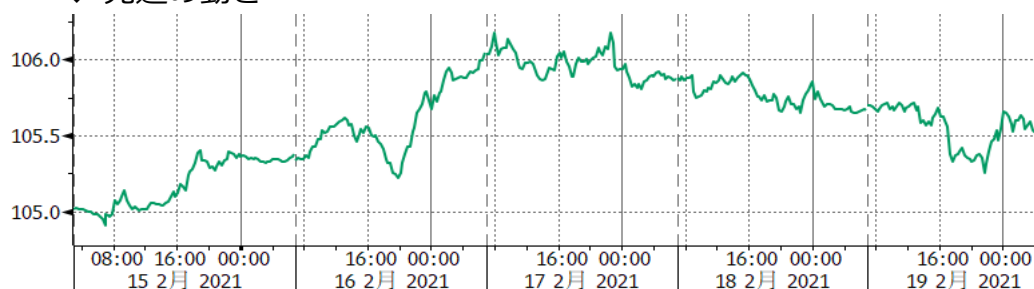
### ◆ 今週の日程

22日(月) 独 2月IFO景況感指数	24日(水) 米 5年国債入札
23日(火) 欧 2月CPI	25日(木) 米 1月耐久財受注
23日(火) 米 2年国債入札	25日(木) 米 7年国債入札
24日(水) 米 1月新築住宅販売	26日(金) 日 1月鉱工業生産
24日(水) 米 2月消費者信頼感指数	28日(日) 中 2月PMI

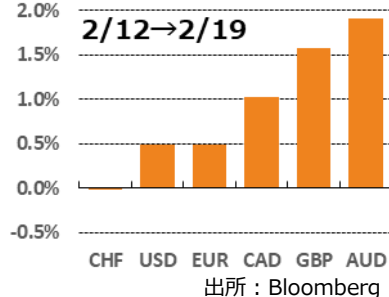
### ◆ 今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 2月19日(金) 105.45円 VS 2月26日(金)

東京										大阪			埼玉			
井口	中根	石川	湊	小新	田中	中里	伊藤	村永	小林	鈴木	武富	上野	小林	津田	石井	佐藤
↓	↓	休	↓	↓	↑	↑	↓	休	↑	↓	↓	休	↓	↑	↑	休

### ◆ 先週の動き



### 主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項  
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/2/22

# りそな WEEKLY COLUMN

## 読者への挑戦 X I

～ マーケットの地域性と東証改革 ～

- 読者への挑戦 X I
- 味噌汁の地域性とマーケットの地域性
- 地方市場と東証改革
- 解決編

関西みらいフィナンシャルグループ  
ストラテジスト 石田 武

### ➤ 読者への挑戦 X I

#### 【読者への挑戦 X I】

アメリカの州境は水域や山脈など、自然を利用した境界線もありますが、法で定めた人工的な（直線の）境界線が多いのが特徴です。ワイオミング州やコロラド州など、人工的な州境しか持たない、長方形の州もあります。では、逆に人工的な境界線を持たず、自然の州境のみから成る州はどこでしょう？

### ➤ 味噌汁の地域性

みなさん、今年の節分は恵方巻を召し上がりましたか？節分に恵方巻という巻き寿司を食べる風習は関西発祥の文化のようなので、お住いの地域によってはまったく馴染みのない方もいらっしゃるかと思います。節分に恵方（今年は南南東ですが、毎年変わります）の方角を向いて巻き寿司を食べると願い事が叶う、というものですが、愛知県出身の私自身も、実は社会人になるまでは知りませんでした。しかし縁あって新入社員として配属された支店（当時は近畿大阪銀行）に恵方巻を販売されているお客さまがいらっしゃったご縁で、以来10年以上に渡って毎年購入させていただいております。見た目のインパクトもさることながら、食べ応えもあってとてもおいしいです。食べたことのないという方は是非、来年は召し上がってみてください。

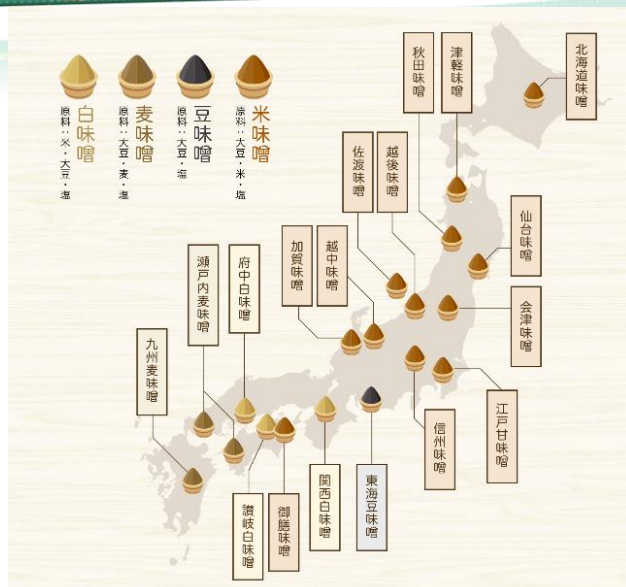
さて、このような食文化にはそれぞれの地方の特色があってとても興味深いですね。例えば恵方巻のような寿司料理には赤だしがよく合いますが、寿司には赤だし、という文化も、実は地域によるようです。そもそも「赤だし」という名称自体が関西発祥という説もあるようです。愛知県出身の私にとっては幼少時代、味噌汁と言えばアレしかありませんでしたので、当然わざわざ「赤だし」などと呼んだりはしませんでした（しいていえば『赤味噌』と呼んでいた気がします）。テレビアニメの食卓風景で白い味噌汁の存在を知った時の衝撃は今でも鮮明に覚えています。味噌汁には赤だしに使う三河の豆味噌のほか、仙台味噌や信州味噌、加賀味噌や九州麦味噌など、色々なご当地味噌があるようなので、食べ比べてみるのも面白いかもしれませんね（上記は現在我が家にある即席味噌汁アソートのラインナップです）。



# りそな WEEKLY COLUMN

## ※全国味噌マップ

出所：マルコメ株式会社さま  
のホームページ



## ➤ マーケットの地域性

マーケットの世界でも地域性というものは存在します。例えばアメリカの各地区連銀が公表している景況感指数でも、ハイテク企業の多いフィラデルフィア連銀、製造業の強いテキサスを含むダラス連銀、米国全体のGDPに占める割合の大きいリッチモンド連銀、大都市シカゴを含むシカゴ連銀、中西部の広範囲を管轄するカンザスシティ連銀、速報性の高いニューヨーク連銀・・・といったように、それぞれの地区の特徴を踏まえながら指標を確認すると、新たに見えてくるものがあるかもしれません。国内では日銀の各支店が地域経済の動向についてまとめた「さくらレポート」が有名ですね。

ところで国内のマーケットにおいても、いわゆる「地方市場」と呼ばれるものが存在するのをご存じでしょうか。たとえば江戸時代には全国各地で米の市場取引が行われており、そのなかでも大阪堂島の米相場が価格の指標とされたため、堂島での始値や終値は飛脚や手旗信号で全国へ伝達されていたそうです。手旗の熟練者だと大阪から京都まで4分で価格を伝達できたそうです。幕府は飛脚を正式とし、手旗による価格伝達は不正取引として禁止していたそうですが、やはりマーケットの熱量は技術発展の原動力のひとつとなるようです。今では手旗信号で株価が伝えられることは、あまりないと思いますが（もちろん現在は自由ですが）、歴とした地方市場は現在も存在します。

日本の株式取引所といえば東京証券取引所（東証）、株価指数といえば日経平均株価（東証一部上場銘柄から日本経済新聞社が選定した225銘柄の平均株価）や、TOPIX（東証株価指数、東証一部上場銘柄の時価総額合計を指数化したもの）を思い浮かべる方が多いと思いますが、実はそれ以外にも地方取引所が存在し、それぞれの株価指数が算出されています。名古屋証券取引所（名証）、札幌証券取引所（札証）、福岡証券取引所（福証）がそれにあたり、それぞれ新興市場として名証セントレックス、札証アンビシャス、福証Q-Boardという、東証マザーズにあたる市場も備えています。残念ながら近年は特に、上場銘柄数や市場規模においては



◎注意事項  
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていないととにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

# りそな WEEKLY COLUMN

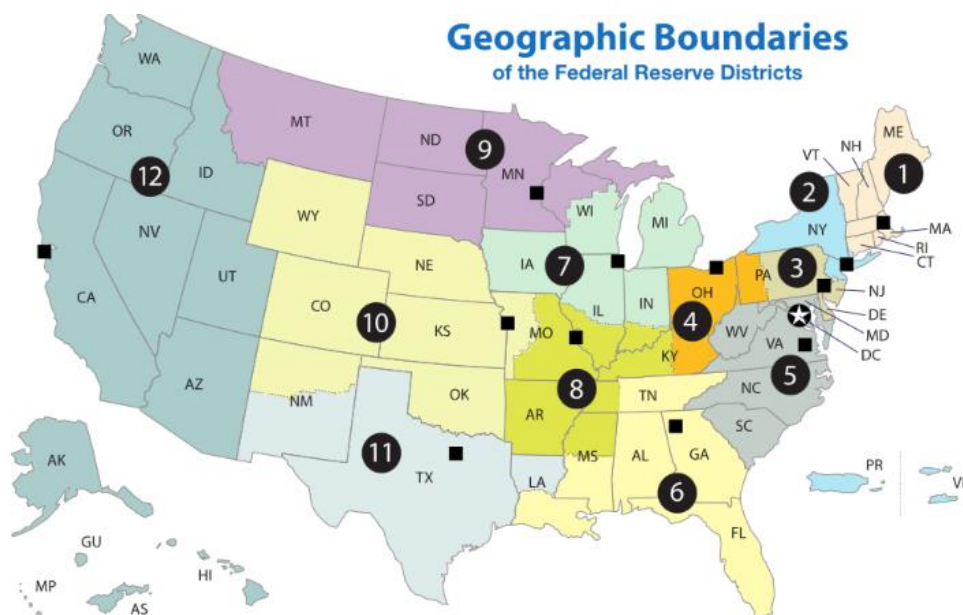
東証に一極集中する傾向にあります。東証において市場再編議論が進んでいる昨今、地方創生の一環として、こういった地方市場の活性化にも目を向けていただけると、一地方出身者としては嬉しい限りです。近頃はSDGs（持続可能な開発目標）やCRS（企業の社会的責任）に力を入れる投資家さんも多いので、火が付けば案外盛り上がるかも！？

## 【解決編】

今回は少々ひっかけ的な問題です。日本の県境は基本的に自然由来のものが多いですが（市町村レベルになると正確には存じ上げませんが）、アメリカの場合は複雑なその成立経緯の影響から、直線から成る州境が非常に多いです（これはアフリカや中東の国境等にも言えることです）。中には四方を直線で囲まれた長方形の州もあるくらいです（下図参照）。日本の感覚からすると不思議な印象を覚えますね。そんな中で、直線のない、全て自然由来の州境から成る唯一の州は・・・ハワイ州です。島なので当然と言えば当然ですが、意外と盲点になってしまいませんか？

## ➤ 解決編

※アメリカの州境と地区連銀の管轄地区 出所：Wikipedia（右表は筆者作成）



※各地区連銀による景況感調査（ブルームバーグより筆者作成）

1	ボストン連銀
2	ニューヨーク連銀
3	フィラデルフィア連銀
4	クリーブランド連銀
5	リッチモンド連銀
6	アトランタ連銀
7	シカゴ連銀
8	セントルイス連銀
9	ミネアポリス連銀
10	カンザスシティ連銀
11	ダラス連銀
12	サンフランシスコ連銀

参考文献：「とっておきの数学パズル」 /ピーター・ウィンクラー著  
「大阪堂島米市場」 /高槻 泰郎著  
「日本経済の心臓 証券市場誕生！」 /日本取引所グループ著

以上

◎注意事項  
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。